



関本 せついさん
埼玉県川越市
若竹旅館

視野を広げる大切さ

これまで旅館を続け

て来られたのは「女将さん、またお世話になります」。お客様のこ

と私います。

の一言が嬉しくて、大変な時を幾度となく乗り越えてきて『この旅館の灯を消してはいけない』その思いが、私を強くしているからだ

18年前旅館の建て替えと同時に夫の両親と入れ替わる形で旅館に入り、子育てをしながら慣れない経営を担ってきました。

バブル崩壊後から今日まで日本経済は低迷を続けていますが、少なからず私どもの旅館も影響を受けてきました。このままではいけないと危機意識を持ちながらも、何をどうし

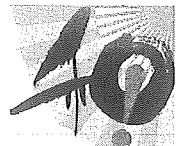
だきました。不景気だからお客様が来ないと半ば諦めていましたが、会員の皆さんと集客法など身近に抱える問題を勉強することで、不景気という先入観で物事をみることの間違いや、視野を広げることの大切さに気づかされます。

がで、交流の場やメンバーングリストなどで、親切丁寧に説明してくださる話題を共有してくれそうです。何より女性だけの会というところで、家族や趣味など身近なことも気軽に話せるので、笑いに包まれたこの雰囲気はホッと癒される安心感が私を元気にしてくれます。私を支えて

時代とともに旅館を取り巻く経営環境も大きく変化し、ツイッターやフェイスブックといったインターネットを駆使した流行りも、ITに精通していない私では、知り得ることはもちろん、取り込むことなど困難なことです。が、J K Kではそれらの情報を得ること

たらよいか、経営の方向性も何を主体にしたらいいかも、素人の私にはわからず汲汲としているところに、J K Kのメンバーである神谷さんから「経営の勉強ができ、女性だけの会なので楽しいよ」と、J K K入会を勧められ、群馬県の実例会に参加させていた

次は長野県・信州鹿教湯温泉の「齋藤ホテル」の齋藤育子さん。またお会いできる日を楽しみにしています。



40. をもってJ K K
全旅連・女性経営者の会
リレーコラム
Vol.37